

平成24年12月の結果 (二人以上の世帯)

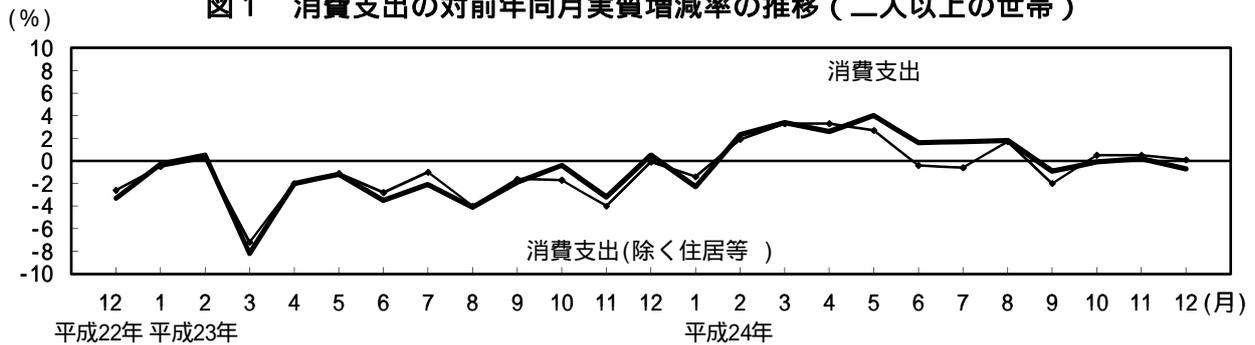
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	325,492円		
前年同月比	実質0.7%の減少 名目0.8%の減少	前月比(季節調整値)	実質0.7%の減少
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質0.1%の増加 名目0.0%	前月比(季節調整値)	実質0.3%の増加
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質1.1%の増加 名目1.0%の増加	前年同月比	実質2.2%の増加 名目2.1%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

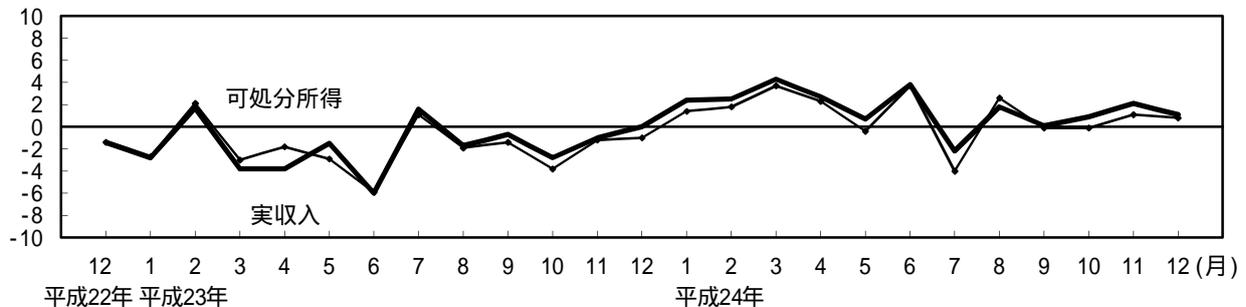
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成23年		平成24年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	0.5	-2.3	2.3	3.4	2.6	4.0	1.6	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7
消費支出(除く住居等)	-0.1	-1.4	1.9	3.3	3.3	2.7	-0.4	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成23年		平成24年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実収入	0.0	2.4	2.5	4.3	2.7	0.7	3.8	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1
可処分所得	-1.0	1.4	1.8	3.7	2.3	-0.4	3.7	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8
消費支出	0.9	-2.9	2.8	4.3	3.8	0.9	2.5	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2
平均消費性向*	0.8	-3.7	0.7	0.5	1.3	1.3	-0.6	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年12月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	325,492	-0.8	-0.7	-0.7		2か月ぶりの実質減少
食料	82,702	0.6	0.9	0.23	<増加> 調理食品,酒類など	3か月ぶりの実質増加
住居	19,923	-12.6	-12.3	-0.86	<減少> 設備修繕・維持,家賃地代	5か月連続の実質減少
光熱・水道	24,871	6.8	3.8	0.27	<増加> 電気代,他の光熱など	2か月連続の実質増加
家具・家事用品	12,744	-2.2	-0.3	-0.01	<減少> 家庭用耐久財,寝具類など	2か月連続の実質減少
被服及び履物	13,813	0.2	0.5	0.02	<増加> 洋服,和服など	2か月連続の実質増加
保健医療	13,486	0.5	1.2	0.05	<増加> 保健医療用品・器具,医薬品	8か月連続の実質増加
交通・通信	41,890	9.2	9.0	1.05	<増加> 自動車等関係費,通信など	11か月連続の実質増加
教育	8,838	-11.3	-11.7	-0.35	<減少> 授業料等,教科書・学習参考教材	2か月連続の実質減少
教養娯楽	32,749	-1.6	-0.4	-0.04	<減少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品	2か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	74,476	-4.5	(-4.4)	(-1.03)	<減少> こづかい,交際費など	2か月ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

注2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

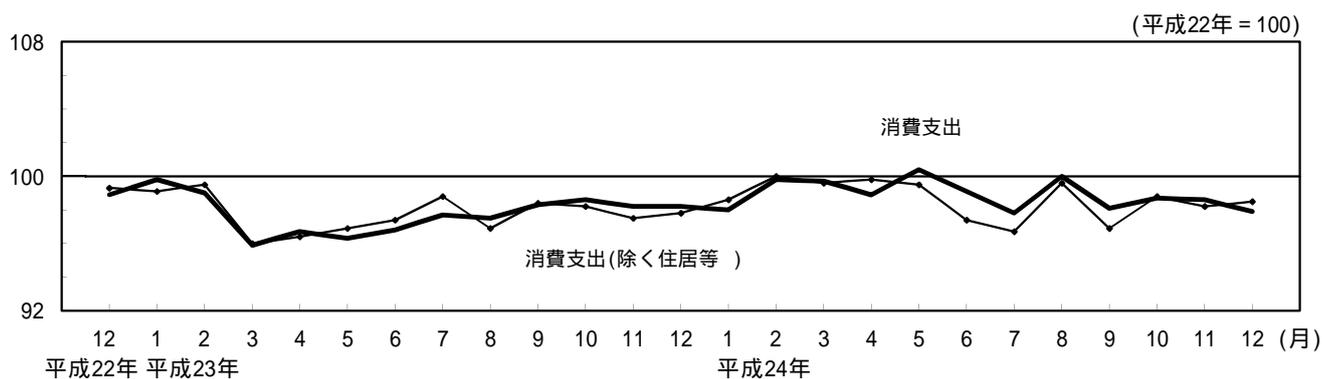
消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
交際費	[-0.65]	贈与金,つきあい費
設備修繕・維持	[-0.49]	設備器具,給排水関係工事費
授業料等	[-0.39]	私立大学,私立中学校
家賃地代	[-0.37]	民営家賃,公営家賃
教養娯楽用耐久財	[-0.20]	テレビ,楽器
<増加項目>		
自動車等関係費	[0.71]	自動車購入,自動車等部品
通信	[0.29]	移動電話通信料,移動電話
教養娯楽サービス	[0.21]	外国パック旅行費,映画・演劇等入場料
電気代	[0.19]	

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

注2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成23年	平成24年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	98.2	98.0	99.8	99.7	98.9	100.4	99.1	97.8	100.0	98.1	98.7	98.6	97.9
対前月変化率(%)	0.0	-0.2	1.8	-0.1	-0.8	1.5	-1.3	-1.3	2.2	-1.9	0.6	-0.1	-0.7
消費支出(除く住居等)	97.8	98.6	100.0	99.6	99.8	99.5	97.4	96.7	99.6	96.9	98.8	98.2	98.5
対前月変化率(%)	0.3	0.8	1.4	-0.4	0.2	-0.3	-2.1	-0.7	3.0	-2.7	2.0	-0.6	0.3

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年12月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	902,928	1.0	1.1	1.1	5か月連続の実質増加
世帯主収入	718,252	-1.4	-1.3	-1.09	2か月ぶりの実質減少
定期収入	350,065	-2.0	-1.9	-0.75	2か月ぶりの実質減少
臨時収入・賞与	368,187	-0.9	-0.8	-0.34	
配偶者の収入	106,832	15.4	15.5	1.61	13か月連続の実質増加
うち女性	105,085	14.7	14.8	1.52	14か月連続の実質増加
他の世帯員収入	14,710	13.1	13.2	0.19	3か月連続の実質増加
非消費支出	147,510	2.5	-	-	4か月連続の増加
可処分所得	755,418	0.7	0.8	-	2か月連続の実質増加
消費支出	359,482	2.1	2.2	-	11か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	47.6	(前年同月) (ポイント差) 46.9 0.7			季節調整値で見ると、75.7%で、前月に比べ、0.7ポイントの上昇となった。